

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

作成日 2019年5月20日

改定日 2021年10月25日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)
販売会社名 : 京葉ケミカル株式会社
住所 : 〒270-1407 千葉県白井市名内 324-19
担当部門 : 開発部
電話番号 : 047-491-7609
FAX 番号 : 047-491-7625
URL : <http://www.keiyo-c.co.jp>
緊急連絡先 : 04-2968-7709
: <http://jushi-namida.com>

2. 危険有害性の要約

特有の危険有害性

消防法 第4類危険物 第4石油類(引火性液体) 危険等級Ⅲ

GHS 分類

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 区分 2B

※上記で記載がない危険有害性項目は、分類できないか分類対象外である。

ラベル要素	なし
絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害情報	眼刺激

注意書き

(安全対策)

取り扱い後はよく洗う事。
保護手袋/保護衣/保護面を着用する事。
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避ける事。
汚染された作業衣は作業場から出さない事。
環境への放出を避けること。
熱、火花、高温体の着火源から遠ざける事。火気厳禁。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用する事。
静電気防止措置を講ずること。導電性の良い金属容器を使用、アー

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

(応急処置)	<p>スをすること。</p> <p>空容器に圧力をかけないこと、破裂の恐れ。</p> <p>容器を溶接、加熱、穴あけ又は切断しないこと、爆発・発火の恐れ。</p> <p>火災の場合/消火には粉末・泡または炭酸ガス消火器を使用する事。</p> <p>皮膚に付着した場合/多量の水と石鹼で洗う事。</p> <p>眼に入った場合/水で数分間注意深く洗う事。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後も洗浄を続ける事。</p> <p>吸入した場合/空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>飲み込んだ場合/直ちに医師に連絡する事。無理に吐かせないこと。</p> <p>下痢・嘔吐の恐れ。</p> <p>皮膚刺激または発疹が生じた場合/医師の診断/手当を受ける事。汚染された衣類を再利用する場合には選択をすること。</p> <p>眼の刺激が続く場合/医師の診断/手当を受ける事。</p>
(保管)	容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管の事。
(廃棄)	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託する事。

3. 組成、成分情報

単一化合物・混合物の区分	混合物
一般用途	3D プリンタサポート材除去用
成分	天然油脂系化合物
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	非該当
労働安全衛生法 通知対象物質	非該当
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	企業秘密なので記載できない

4. 応急処置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し保温し安静に保ち、必要なら医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに、触れた部分に石鹼を使って水で洗い落とす。
目に入った場合	清浄な流水で直ちに15分以上洗眼した後、医師の手当てを受ける。 洗眼時にはこすらず、まぶたを指で良く開き、眼球、まぶたの隅々までよく洗浄する。
飲み込んだ場合	直ちに吐き出した後、医療処置を受ける。
衣服に付着した場合	直ちに汚染した衣服を脱ぎ、汚染された身体部位は石鹼を使用してよく洗い流す。

5. 火災時の処置

消火剤	炭酸ガス、粉末、泡、霧状の強化液。
使ってはならない消火剤	棒状注水。

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

特有の危険有害性 高温体に接触、燃料管から漏洩した場合、発生した蒸気により燃焼・爆発の危険性あり。

消火方法 消火作業時には不浸透性保護具・手袋を着用。空気呼吸器等を用い、酸素欠乏及び有害ガスから身を守ること。

初期火災には炭酸ガス、粉末消火器等を用いて、風上から消火する。大規模火災は泡消火剤を用いて空気を遮断すること。

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項 消火用器材を準備。作業者は消火用保護具を着用し、目、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項 河川中に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。環境中に放出してはならない。

除去方法 蒸発しやすいので、速やかに全ての着火源を取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。

少量の場合、ウエスや砂等に吸着させて回収する。

大量の場合、土砂などで流出の拡大を防止した後、液面を泡で覆い容器等に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い 目や皮膚に触れないように注意する。

ミスト・蒸気・スプレー等の吸入を避ける。

熱・火花・裸火・高温体・火炎との接触を避ける。

蒸気を発散させないこと。火気厳禁。

排気・換気設備を設ける。

保護手袋・保護眼鏡・保護衣・保護面を着用する。

取り扱い後は手をよく洗う。

保管 使用しないときは、容器を密栓し、ごみや水などの混入を防ぐ。

ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質との混載、混合保管は避ける。

冷所・換気の良い場所で日光を避け、施錠して保管する。

容器に圧力をかけない。破裂の恐れ。

8. 暴露防止及び保護処置

管理濃度 規定なし

許容濃度 規定なし

設備対象 全体換気装置、又は局所排気装置の設置が望ましい。

保護具 呼吸用保護具 防毒マスク(有害ガス用)着用が望ましい。

保護眼鏡 必要時にはゴーグル型の眼鏡を使用する。

保護手袋 耐油性のものを使用する。

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

保護衣

濡れる場合は耐油性のものを使用する。

9. 物理性及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	淡白色状液体 (20°C)
臭い	微臭
融点・凝固点	28~33°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	242°C以上
爆発範囲 (Vol%)	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度 (空気=1)	データなし
密度 g/cm ³	0.84g/cm ³
溶解性	水に不溶
オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
揮発性	なし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の状態では極めて安定。
反応性	強酸化剤との接触は避ける。
混触危険物質	ハロゲン類・強酸類・アルカリ類・酸化性物質。
危険有害な生成物	燃焼の際、煙・一酸化炭素等が生成される。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD50 =27000 mg/kg (推定値) 経皮 LD50 データなし 吸入 LD50 データなし
皮膚腐食性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	弱刺激性
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	IARG・NTP・日本産業学会リストには記載されていない。
生殖毒性	データ不十分な為、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	データ不十分な為、分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	データ不十分な為、分類できない。
呼吸器有害性	データ不十分な為、分類できない。
その他	現在のところ有用なデータなし。

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

1 2. 環境影響情報

環境に対する有害性

水性環境急性有害性

現在のところ有用なデータなし。

水性環境慢性有害性

現在のところ有用なデータなし。

分解性

現在のところ有用なデータなし。

蓄積性

現在のところ有用なデータなし。

魚毒性

現在のところ有用なデータなし。

1 3. 廃棄上の注意

廃液

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

廃容器

火気から遠ざけた安全な場所に集積し、廃棄に当たっては都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者へ委託する。

1 4. 運送上の注意

国際規制

国連分類

非該当

国連番号

非該当

容器等級

非該当

海洋汚染物質

非該当

国内規制

陸上輸送

消防法危険物 第4類 第4石油類 危険等級Ⅲ

海上輸送

船舶安全法 非危険物

航空輸送

非危険物

輸送の安全対策及び条件

容器及び包装外部に、品名・数量・危険等級及び火気厳禁の表示。
 指定数量以上を車輛で運搬する場合、「危」の標識表示及び消火設備の準備。

陸上輸送の場合、運搬時積み重ね高さは3m以下。

第1類及び第6類危険物との混載禁止。

輸送用容器（タンカー・タンク車・タンクローリー除く）は危険物の規制に関する別表第3の2項に定めたものを使用。

その他関係法令の定めるところに従う。

1 5. 適用法令

P R T R法

非該当

労働安全衛生法

非該当

消防法

第4類引火性液体 第4石油類 危険等級Ⅲ

海洋汚染防止法

油分排出規制

EXTRIPPER® JAM(エクストリッパー・ジャム)

水質汚濁防止法	油分排出規制
下水道法	鉱油類排出規制
廃棄物処理法	産業廃棄物規則

16. その他の情報

(参考文献)

許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会 2006）

米国産業衛生専門家会議（ACGIH：TLVs and BELs2004）

International Uniform Chemical Information Database（IUGLID2000）

I A R G s u p p l . 7

I A R G Monographs Program on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans1984・1987

E C 理事会指令「67/548/EEG」の付属書1「危険な物質リスト」

米国産業衛生専門家会議 A G G I H documentation2001

WHO／I P G S 「環境保護クライテリア(E H G)2004」

WHO／I P G S 「International Chemical Safety Cards2001」

記載内容は現時点で入手可能な資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質の数値、危険有害性情報に関しては、いかなる保証を成すものではありません。

この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。

また、注意事項は通常的な取り扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いいたします。